

本部長指示事項

○まずは、昨年から長期にわたり新型コロナ対策で尽力いただいている保健福祉局職員や病院職員などをはじめ、多くの職員に感謝を申し上げる。

本日から本部長としてコロナ対策の指揮をとっていくので、皆さんの力を貸してほしい。千葉市民ひとりひとりのために、協力の程よろしく願いたい。

○さて、本市の3月16日時点の感染者は、重症2人、中等・軽症等165人で、人口10万人当たりの直近1週間(3月10日～3月16日)の新規感染者数は、12.6人(124人×100,000人/982,429人)となり、前週の11.5人と比べると1.1人の微増となり下げ止まり傾向となっている。

一方で、千葉県の3月18日時点の病床使用率は35%(20%未満がステージ2)、10万人当たりの療養者数17人(15人未満がステージ2)と、低下傾向にあり、医療機関の逼迫度は少し改善してきているところ。

○この様な中、1都3県に発出しされていた緊急事態宣言が3月21日で解除された。

○このため、本日から本市でも1月8日から実施してきた市有施設の利用制限について、段階的に緩和することとし、休館としてきた「いきいきプラザ」等を開館するほか、屋内運動施設や公民館やコミュニティセンター等については、20時まで利用可能としたところ。

○しかし、1都3県においても、感染力の強い変異株が多く発見されていることや、新規感染者数が前週を上回るなど下げ止まり傾向が続いていることなどから、依然予断を許さない状況が続いている。

本市としても、全力を挙げて感染拡大防止に取り組んでいく必要がある。

○さて、私は新型コロナウイルス感染症対策として、市民の皆様にご5点方向性を示してきた。各部においては、速やかに状況確認と検討をお願いしたい。

1点目、ワクチン接種を迅速に行える体制を整え、正しい情報を公表すること。また、PCR検査について、感染拡大防止につながるものは市が実施しているが、対象の拡大について、具体的な方針を検討していただきたい。2点目以降は市民活動をもとに戻していきたいという観点で、感染拡大防止対策と併せて状況をみながら検討していくことになる。

2点目、市民の学びの機会や自宅にこもりがちな高齢者の健康づくりを支援するとともに、サービスの事業継続を支援すること

3点目は、1月に成人式が中止となっているが、成人式は、人生一度の晴れ舞台であり、小中学校の同級生との再会の場でもあるので、新型コロナウイルス感染症の収束を見極めて改めて今年出席できなかった方を対象に開催すること

4点目は、今年はインフルエンザの感染者数を抑えられているが、医療機関の負担の軽減等のため、新年度も全年齢を対象にインフルエンザワクチン接種に対する補助を行うこと

最後、5点目は、コロナ禍で厳しくなっている家計を支援するため、多子世帯の第3子以降の給食を無償化については、財政的な面を踏まえ、可能性があると考えているので、実施案の具体化を急ぐことである。

この5点については、各所管において迅速に検討をお願いしたい。

○千葉県から先日発表されたが、高齢者向けの県内第1号として本市にワクチンが配布されることとなった。本市としては、ワクチンの量が2箱975人×2回分と限られていることから、重症化のリスクが高く、クラスターが発生すると長期に亘り病床を圧迫する恐れのある高齢者施設を対象に、適切な選定条件を基に優先順位を付けてスムーズに接種を行えるよう進めてほしい。

○最後に、新型コロナウイルス対策の本格実施から1年以上が経過した。職員には、疲労の蓄積とい

った面もあるとは思いますが、今後リバウンドの懸念もあり、気持ちを新たに、気を引き締めて、感染拡大防止対策に取り組んでいく必要がある。

これからも市民の皆様と職員が一丸となって対策を進めるとともに、県との連携をさらに強化して取り組んで参りたい。協力の程、引き続き、お願いします。